

# アート・コミュニケーションのためのスキルを磨く -感性を育てたいあなたへ-

講師 ナラティブコミュニケーション教育研究所 所長 佐藤 敬子 氏



現在、鳥取県立博物館の美術部門では、2025年春（令和6年度中）に予定されている県立美術館開館を視野に入れながら、様々な教育普及活動を行っています。当館のコレクションを学校や地域に持ち込んで行う「コレクション宅配便」や、近年、企業研修や医学教育、医療現場など多くの場で行われている作品鑑賞法「対話型鑑賞」の取り組みもその一つです。

対話型鑑賞とは、1980年代にニューヨーク近代美術館（MoMA）で開発された鑑賞教育で、美術史などの知識だけに偏らず、鑑賞者同士のコミュニケーションを通して美術作品を読み解いていく方法です。作品を見て、考え、考えたことを話し、他の鑑賞者のことばを聞きます。そしてもう一度自身の目で見て、再び考えます。その繰り返しによって鑑賞が深まり、作品の見え方や印象が変化していきます。そのようにして、自分と作品との間に新たな価値が生まれるのです。コミュニケーションを通して作品を鑑賞する楽しい場となるとともに、問いを立て、試行錯誤しながらアプローチする姿勢や観察力、発見したことや考えたことを言語化する力、自分を認め他者を理解する力などたくさんの能力が身につく場ともなるのです。このような場で、対話の交通整理をするのがファシリテーターです。コミュニケーションの場を任されるファシリテーターにはどんな力が必要となるのでしょうか。

この「ファシリテーター養成講座」では、佐藤敬子氏をお迎えしファシリテーションの基礎ともなるコミュニケーションについてお話しいたします。同氏は、教育分野での豊富な経験と幅広い専門知識を生かして、カウンセリングはもちろん、全国での講演会や研修講師、コーディネーター、ファシリテーター等として多忙な毎日をご過ごされています。

一人一人の内面にある可能性と能力を引き出し、問題解決やモチベーションアップを促すプロフェッショナルによるコミュニケーション講座です。新しく開館する鳥取県立美術館で、子どもたちや来館者と楽しく美術鑑賞をするファシリテーターに興味のある方、コミュニケーションについて学びたい方、この機会をお見逃しなく！



日時 令和3年6月17日（木）  
午後1時～午後2時30分

場所 鳥取看護大学・鳥取短期大学  
交流センター 中講義室

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため最大収容人数182名の会場としています。

協力 とっとりプラットフォーム5+α

要申込 定員 40名程度

※上記定員以外に、鳥取短期大学学生が受講します。

募集期間 6月1日（火）午前8時30分～電話のみ（先着順）

聴講 無料

申し込み 鳥取市東町2-124 県立博物館美術振興課  
問い合わせ TEL.0857-26-8045



佐藤敬子（さとう・けいこ）氏

ナラティブコミュニケーション教育研究所 所長  
（一財）生涯学習開発財団認定コーチ  
（国家資格）キャリアコンサルタント  
（社）日本産業カウンセラー協会 産業カウンセラー  
行政書士  
別府大学客員教授  
大分県立看護科学大学非常勤講師

### 経歴

東京都出身 横浜国立大学教育学部出身

公立中学校勤務から教育行政、県知事部局勤行政、大学教授と幅広く活躍  
大分県教育センターでは教育相談部長として不登校、いじめ等の教育課題を次々に解決し、また、女性初の生徒指導担当指導主事として文部科学省はじめ全国の教員指導にあたる大分県知事部局では女性教育、男女共同参画の推進に尽力した。  
大分県職員研修所（現自治人材育成センター）では県職員、自治体職員の人材育成に携わる。

別府大学教職課程で多くの学生を現役合格に導き、キャリア教育の専門家として大学生のキャリア支援の中心として本物のキャリアコンサルティングとして多くの学生や保護者の支持を集めた。

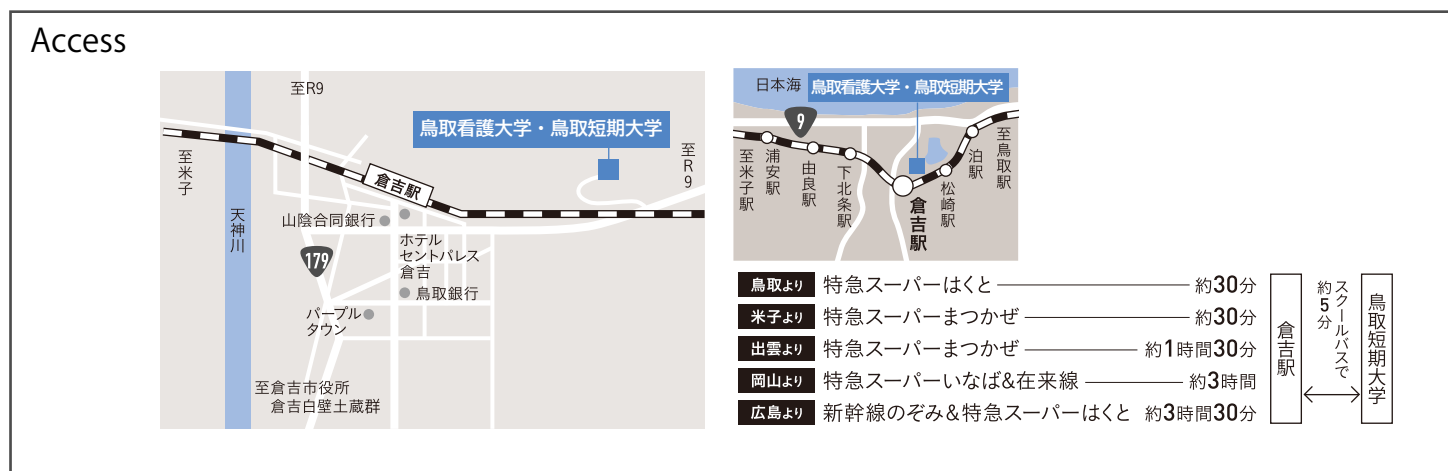
長年の教育分野での経験と幅広い専門知識を生かし、カウンセリングはもちろんのこと全国で講演会や研修講師としての依頼が絶えない。

2021年より、「ナラティブコミュニケーション教育研究所」を主宰

セミナー、講演・研修の実績（一部紹介）

官公庁、各企業等で「コーチング」「モチベーションアップ」「ファシリテーション」「ワーク・ライフ・バランス」「キャリアデザイン」等、文科省をはじめ全国で講演会や研修会の講師を務める。

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によってはリモートによる開催、もしくは中止することがあります。



〒680-0011 鳥取市東町2丁目124  
お問い合わせ ☎ 0857-26-8045（美術振興課）